平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名　藤倉化成株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4620　URL　http://www.fkkasei.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 鷲野　襄治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 下田　善三　TEL 03-3436-1101

四半期報告書提出予定日　平成24年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,388	7.2	427	△23.3	508	△13.7	253	22.5
24年3月期第1四半期	12,486	△12.7	557	△48.9	589	△43.7	206	△61.2

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　427百万円　(36.1%)　24年3月期第1四半期　314百万円　(△38.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	7.73	―
24年3月期第1四半期	6.31	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	43,815	23,995	51.5
24年3月期	42,428	23,845	53.0

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　22,584百万円　24年3月期　22,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	7.00	―	7.00	14.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		7.00	―	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,100	△3.0	1,300	14.3	1,250	11.6	700	39.2	21.42
通期	53,000	2.9	3,000	62.1	2,900	62.6	1,700	71.2	52.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	32,716,878 株	24年3月期	32,716,878 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	38,168 株	24年3月期	38,168 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	32,678,710 株	24年3月期1Q	32,678,710 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。前記の予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災からの復興需要を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしましたが、欧州債務危機問題は、新興国の経済成長の鈍化による世界経済の減速感の広がりや円高の長期化をもたらすなど、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移しました。

このような環境の下、当第１四半期連結累計期間の売上高は133億88百万円（前年同期比7.2%増）となり、営業利益は４億27百万円（同23.3%減）、経常利益は５億８百万円（同13.7%減）、四半期純利益は２億53百万円（同22.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）につきましては、自動車向けでは、エコカー補助金制度などを背景に国内の自動車生産台数の回復を受けたことや、海外市場においても、東南アジア市場及び北米市場での需要が堅調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は44億14百万円（同10.7%増）となり、営業利益は１億59百万円（同435.5%増）となりました。

② 建築用塗料

建築用コーティング材につきましては、新築向け市場では前年同時期と比べ横這いでしたが、リフォーム向け市場では、需要の拡大から施工棟数が順調に増加し、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は30億98百万円（同8.8%増）となり、営業利益は２億27百万円（同15.1%増）となりました。

③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』など）の電子材料部門におきましては、エレクトロニクス産業全体の需要低迷や円高の長期化による国際的競争力の低下から、受注が低迷し、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は12億33百万円（同20.2%減）となり、営業損失は５百万円（前年同四半期は営業利益２億３百万円）となりました。

④ 機能材料

樹脂ベースなどの機能材料部門におきましては、主要ユーザー向けの主力製品である粘着材ベースの需要が低迷したこともあり、売上高、営業利益とも前年を下回りました。

この結果、売上高は４億34百万円（同12.8%減）となり、営業利益は11百万円（同74.6%減）となりました。

⑤ 化成品

トナー用樹脂などの化成品部門におきましては、ＯＡ機器分野における大手ユーザー向けのトナー関連製品において、カラー用途の新製品が引き続き好調に推移し、売上高は上伸いたしました。

この結果、売上高は６億39百万円（同6.8%増）となり、営業利益は57百万円（同13.9%減）となりました。

⑥ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、中国・東南アジア市場向けの薄型ＴＶ用途製品の需要が回復途上にありましたが、円相場の高止まりによる収益の圧迫があり、利益面では非常に厳しい状況で推移いたしました。

この結果、売上高は36億７百万円（同18.1%増）となり、営業損失は21百万円（前年同四半期は営業利益20百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産・負債・純資産の状況）

当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ13億87百万円（前連結会計年度末比3.3％）増加し、438億15百万円となりました。

①　流動資産

当第１四半期連結会計期間末が金融機関の休業日であったことなどにより受取手形及び売掛金が増加したことに加え、たな卸資産の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ10億21百万円（同4.0％）増加し、264億39百万円となりました。

②　固定資産

英国子会社のFujichem Sonneborn Ltdの機械及び装置の入替などによる有形固定資産の増加及び当社などのソフトウエアの増加などの結果、前連結会計年度末と比べ３億67百万円（同2.2％）増加し、173億76百万円となりました。

③　流動負債

当第１四半期連結会計期間末が金融機関の休業日であったことなどによる支払手形及び買掛金の増加及び短期借入金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ10億76百万円（同7.5％）増加し、154億29百万円となりました。

④　固定負債

退職給付引当金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ１億61百万円（同3.8％）増加し、43億92百万円となりました。

⑤　純資産

為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べ１億50百万円（同0.6％）増加し、239億95百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末の53.0％から51.5％へと1.5ポイント減少となり、１株当たり純資産額は前連結会計年度末より３円58銭増加し、691円８銭となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、平成24年５月11日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,278,102	7,402,323
受取手形及び売掛金	12,005,694	12,540,369
商品及び製品	3,369,927	3,609,611
仕掛品	29,473	55,923
原材料及び貯蔵品	1,927,934	1,991,898
繰延税金資産	569,461	436,288
その他	386,112	552,261
貸倒引当金	△148,287	△149,596
流動資産合計	25,418,416	26,439,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,596,603	8,467,122
減価償却累計額	△4,051,203	△4,143,709
建物及び構築物（純額）	3,545,400	4,323,413
機械装置及び運搬具	9,881,652	10,341,886
減価償却累計額	△7,277,202	△7,368,543
機械装置及び運搬具（純額）	2,604,450	2,973,343
工具、器具及び備品	3,237,719	3,260,048
減価償却累計額	△2,715,319	△2,704,778
工具、器具及び備品（純額）	522,400	555,270
土地	4,150,207	4,197,185
リース資産	280,782	275,811
減価償却累計額	△163,023	△154,433
リース資産（純額）	117,759	121,378
建設仮勘定	1,011,829	76,086
有形固定資産合計	11,952,045	12,246,675
無形固定資産		
ソフトウエア	367,061	455,844
のれん	165,324	135,832
その他	837,234	866,777
無形固定資産合計	1,369,619	1,458,453
投資その他の資産		
投資有価証券	1,309,523	1,189,529
長期貸付金	60,690	51,916
繰延税金資産	655,103	755,120
その他	1,709,158	1,720,933
貸倒引当金	△46,509	△46,472
投資その他の資産合計	3,687,965	3,671,026
固定資産合計	17,009,629	17,376,154
資産合計	42,428,045	43,815,231

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,526,919	8,294,278
短期借入金	2,985,614	3,290,251
1年内償還予定の社債	845,000	845,000
未払法人税等	156,264	114,394
未払費用	801,088	890,985
賞与引当金	546,293	293,145
リース債務	68,592	73,291
その他	1,423,120	1,627,659
流動負債合計	14,352,890	15,429,003
固定負債		
社債	720,000	720,000
繰延税金負債	263,558	274,227
退職給付引当金	2,424,531	2,537,564
長期未払金	421,531	416,641
リース債務	108,280	108,391
その他	292,495	334,718
固定負債合計	4,230,395	4,391,541
負債合計	18,583,285	19,820,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	12,631,508	12,655,523
自己株式	△24,969	△24,969
株主資本合計	22,998,859	23,022,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,437	△31,081
為替換算調整勘定	△575,787	△408,143
その他の包括利益累計額合計	△532,350	△439,224
少数株主持分	1,378,251	1,411,037
純資産合計	23,844,760	23,994,687
負債純資産合計	42,428,045	43,815,231

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	12,485,958	13,387,997
売上原価	8,972,997	9,903,168
売上総利益	3,512,961	3,484,829
販売費及び一般管理費	2,955,519	3,057,474
営業利益	557,442	427,355
営業外収益		
受取利息	1,079	1,786
受取配当金	24,823	21,739
固定資産賃貸料	16,452	16,215
為替差益	9,513	39,196
その他	13,447	34,424
営業外収益合計	65,314	113,360
営業外費用		
支払利息	24,383	22,408
その他	9,617	10,392
営業外費用合計	34,000	32,800
経常利益	588,756	507,915
特別損失		
災害による損失	16,613	－
投資有価証券評価損	－	13,167
特別損失合計	16,613	13,167
税金等調整前四半期純利益	572,143	494,748
法人税、住民税及び事業税	205,260	116,780
法人税等調整額	119,153	81,112
法人税等合計	324,413	197,892
少数株主損益調整前四半期純利益	247,730	296,856
少数株主利益	41,386	44,090
四半期純利益	206,344	252,766

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	247,730	296,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,727	△72,411
為替換算調整勘定	96,694	211,703
持分法適用会社に対する持分相当額	－	△9,060
その他の包括利益合計	65,967	130,232
四半期包括利益	313,697	427,088
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	259,821	345,892
少数株主に係る四半期包括利益	53,876	81,196

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	3,987,152	2,847,164	1,541,623	497,299	598,558	3,014,162	12,485,958
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	2,945	25	－	40,904	43,874
計	3,987,152	2,847,164	1,544,568	497,324	598,558	3,055,066	12,529,832
セグメント利益	29,739	196,917	203,135	41,977	65,842	19,762	557,372

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	557,372
セグメント間取引消去	70
四半期連結損益計算書の営業利益	557,442

３．報告セグメントごとののれんに関する情報
（のれんの金額の重要な変動）
「コーティング」セグメントにおいて、Fujichem Sonneborn Ltd及び同社の子会社は重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。
なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第１四半期連結累計期間において383,493千円であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	4,414,213	3,097,943	1,230,172	433,525	639,125	3,573,019	13,387,997
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	87	2,648	26	－	33,550	36,311
計	4,414,213	3,098,030	1,232,820	433,551	639,125	3,606,569	13,424,308
セグメント利益	159,264	226,709	△4,870	10,652	56,714	△21,100	427,369

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	427,369
セグメント間取引消去	△14
四半期連結損益計算書の営業利益	427,355

３．報告セグメントの変更等に関する情報

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第１四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。